

平成30年度 港区立南山幼稚園経営計画

1 目指す幼稚園像

港区立南山幼稚園は、3年保育開始から4年目を迎え、独立園となって2年目となる。園児数は、3歳児25名、4歳児26名、5歳児26名で総園児数77名となった。そして、4月より、預かり保育（サポート保育）を実施する。

今年度は、幼稚園教育要領の全面実施の年である。本園での幼稚園教育における育ちと学びが小学校以降の教育の土台となるよう、また、地域に根ざし、地域と共にある幼稚園として役割を果たせるよう、保護者、地域、小学校・中学校など、社会に開かれた教育課程を編成・実施する。また、港区教育ビジョン、港区学校教育推進計画及び港区幼児教育振興アクションプログラムと併せて、幼稚園教育において育みたい資質・能力を明確にした「南山幼小連携カリキュラム」を活用し、小学校以降の教育を見通した幼稚園教育3年間の教育を推進する。

目指す幼稚園像は、以下のとおりとし、幼児・保護者・地域・教師がともに豊かに育つための幼稚園経営を進める。

幼児・保護者・地域・教師がともに豊かな学びを創り出す幼稚園

- ①安全で安心な幼稚園
- ②幼児が遊ぶことが楽しいと感じ、自己を十分に発揮できる幼稚園
- ③保護者・地域から信頼される幼稚園

2 幼稚園の教育目標

人権尊重の精神に基づき、幼稚園・家庭及び地域社会の連携をもとに、心身ともに健康で、自ら主体的に遊びや生活に取り組み、よく考え、豊かな学びを創り出す幼児を育成するため、次の目標を設定する。

○げんきな子 ○よくかんがえる子 ○なかよくする子

3 目指す教師像

自分でよく考え、主体的に行動し、豊かに学ぶ教師

- 一人ひとりの幼児の心に寄り添い、指導力の向上のため、努力し続ける教師
- 互いに実践を語り合い、学び合い、高め合える教師
- 保護者・地域から信頼される教師

4 中期的経営目標と方策（平成30年度～平成32年度）

- (1) 港区立南山小学校と同一敷地内にある恵まれた立地と特色を生かした3年間の幼稚園教育を着実に実践する。
- (2) 園舎・園庭・保育室の安全面・防犯面の改善をさらに進めるとともに、教育環境においては園舎全面に広がる小学校校庭を有効に活用する。また、各学年の発達に応じて幼児同士

の関わりが深められるよう、1階2階の保育室・遊戯室を意図的・計画的に活用し、教育活動を充実させる。

- (3) 南山の教育を創造し、幼児の成長に喜びを感じ、丁寧な幼児理解に務め、教職に携わる誇りと責任、情熱をもって教育にあたる教職員集団をつくる。
- (4) 地域に開かれ、親しまれ、園の教育へのよき理解者となっただけの区立幼稚園となるために、地域への情報発信を工夫するとともに、地域の人々の教育力を教育活動に生かし、地域との信頼関係を強固なものとする。

5 短期的目標と具体的方策（今年度の取組）

（1）幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を見通した教育活動の充実

- ①「南山幼小連携カリキュラム」を活用し、PDCA サイクルに基づく3年間の教育活動を推進する。
- ② 言語・文化が異なる幼児も含め、幼児一人ひとりの思いや願い、発達の丁寧な理解に努め、愛情あふれる保育を展開する。
- ③ 幼児が豊かな学びを創り出す人的・物的環境を見直し、3年間の指導計画を改善する。

（2）安心・安全で魅力的な教育環境の整備

- ① 安全点検、安全指導のほか、日々の園生活において、職員の危機管理意識の高揚を図る。
- ② 幼児の安全な園生活のため、園職員による安全点検や安全指導の実施と、週1回の用務主事（兼務）との連携を強化する。
- ③ 小学校の校庭を積極的に活用することを指導計画に位置付け、多様な動きが経験できるよう園内外の環境を工夫して、幼児の体力向上を図る。
- ④ 園庭の畑、花壇、南山の森、都立六本木高校の畑など、計画的・意図的に活用し、幼児に季節感を味わせるとともに、幼児の知的好奇心や思考力の芽生えを培う。

（3）互いに高め合う教員の醸成

- ① 各教員が自己の保育の課題の解決に向け、指導の工夫や新たな挑戦に向けPDCA サイクルを確実に実践する。
- ② 自分の保育に対する説明責任を果たすとともに、互いの指導を語り合い、チーム保育を充実させ、各教員の相互の創意工夫を重ねる。
- ③ 園務分掌の確実な実行に向け、全体を把握し進行管理を行う力を身に付ける。

（4）地域に開かれ、地域に親しまれる魅力ある幼稚園づくりの推進

- ① 保護者、地域の人々、在籍する外国人にもわかりやすい、幼稚園の教育活動の情報をホームページ、月の便りなどでこまめに発信し、園の教育活動の理解につなげる。
- ② 日々の送迎時、電話連絡、PTA 活動や委員会活動等、就労している保護者や外国人も含め、一人ひとりの保護者や地域の人々への誠意ある対応で確実に信頼関係を築けるようにする。
- ③ 麻布十番商店街、学校評議員等、地域の方々との連携を密にし、園の教育力の向上につなげる。
- ④ サポート保育を円滑に進め、保護者の子育ての支援を行う。